

令和2年度
伊達市事業説明書

知ってください
今年取り組み



伊達市

令和2年度 伊達市事業説明書の発刊にあたって

令和2年度当初予算の編成にあたっては、市民の安心・安全を確保し、次世代に「安心の輪」をつなぐ取り組みを進める年と位置付けました。

昨年10月の東日本台風では、伊達市内において河川氾濫や土砂災害が発生し、市内各地で甚大な被害を受けました。今年度は、市の最大の使命である市民の皆さんの安心・安全を確保するために、復旧・復興と防災・減災対策に重点的に取り組み、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

また、本市の最大の課題は人口減少への対応です。若い世代の地元定着や市外からの移住促進が重要と捉えております。そのため、新工業団地の造成、企業誘致や新規就農支援などによる働く場の確保、地域資源を活かした交流人口や関係人口の拡大を図ってまいります。

さらに、県内でも先行した取り組みである「伊達市版ネウボラ事業」をはじめとする子育て支援、学んだことが生きる力につながる教育の充実を図り、若い子育て世代にとって魅力的な地域づくりを進めてまいります。

加えて、高齢者を含めて、支援が必要な人たちが住み慣れた地域で安心して活躍できる社会とするために、運動習慣化支援と元気づくり会を中心とした健幸都市施策、福祉施策を推進してまいります。

これら「子育て・教育のまち」、「林業・商工業・観光まち」、「健幸・福祉のまち」の3つを基軸とする事業を展開し、市民の皆様と共に、次世代に「安心の輪」をつなげる取り組みに取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本冊子は、市が行う行政サービスや各分野の事業をより多くの皆さんに知っていただくために、分かりやすく簡潔に取りまとめたものですので、ぜひ活用いただきたいと思います。

令和2年4月

伊達市長

須田博行

目 次

令和2年度の施策展開と予算規模	2
-----------------	---

事業説明書の構成と見方	4
-------------	---

災害からの復旧と防災・減災の取り組み	5
--------------------	---

令和2年度の主な取り組み

I. 子育て・教育のまち	12
--------------	----

II. 農林業・商工業・観光のまち	16
-------------------	----

III. 健幸・福祉のまち	20
---------------	----

IV. 東京オリンピック・パラリンピック関連事業	21
--------------------------	----

V. その他の主要事業	22
-------------	----

VI. 総合支所の事業	28
-------------	----

資料編

● 令和2年度当初予算の概要	30
----------------	----

● 市の財政状況	32
----------	----

● 財政用語の説明	36
-----------	----

● 基金の説明	37
---------	----

● 市民憲章・伊達市歌・花木鳥	38
-----------------	----

● 問い合わせ窓口	40
-----------	----

● 本庁舎案内図	41
----------	----

令和2年度の施策展開と予算規模

令和2年度は、市民の「安心・安全」を確保し、次世代に「安心の輪」をつなぐ取り組みを進める年と位置付けました。

昨年10月の令和元年東日本台風（台風第19号）で甚大な被害を受けた本市にとって、最優先の課題である「災害復旧と防災・減災対策」に重きを置き、「子育て・教育のまち」、「農林業・商工業・観光のまち」、「健幸・福祉のまち」の3つを柱として重点的に施策展開を図ります。

- ・運動習慣化支援
- ・元気づくり会

**健幸・福祉
のまち**

- ・災害復旧事業
- ・内水排除対策
- ・避難情報収集伝達事業

**災害復旧
防災・減災**

安全・安心

～次世代につなぐ安心の輪～

**子育て
教育のまち**

- ・伊達市版ネウボラ
- ・認定こども園整備
- ・小中学校改築施設整備

**農林業
商工業
観光のまち**

- ・企業誘致
- ・新規就農者支援
- ・交流人口拡大対策

■令和2年度に行う事業の予算規模

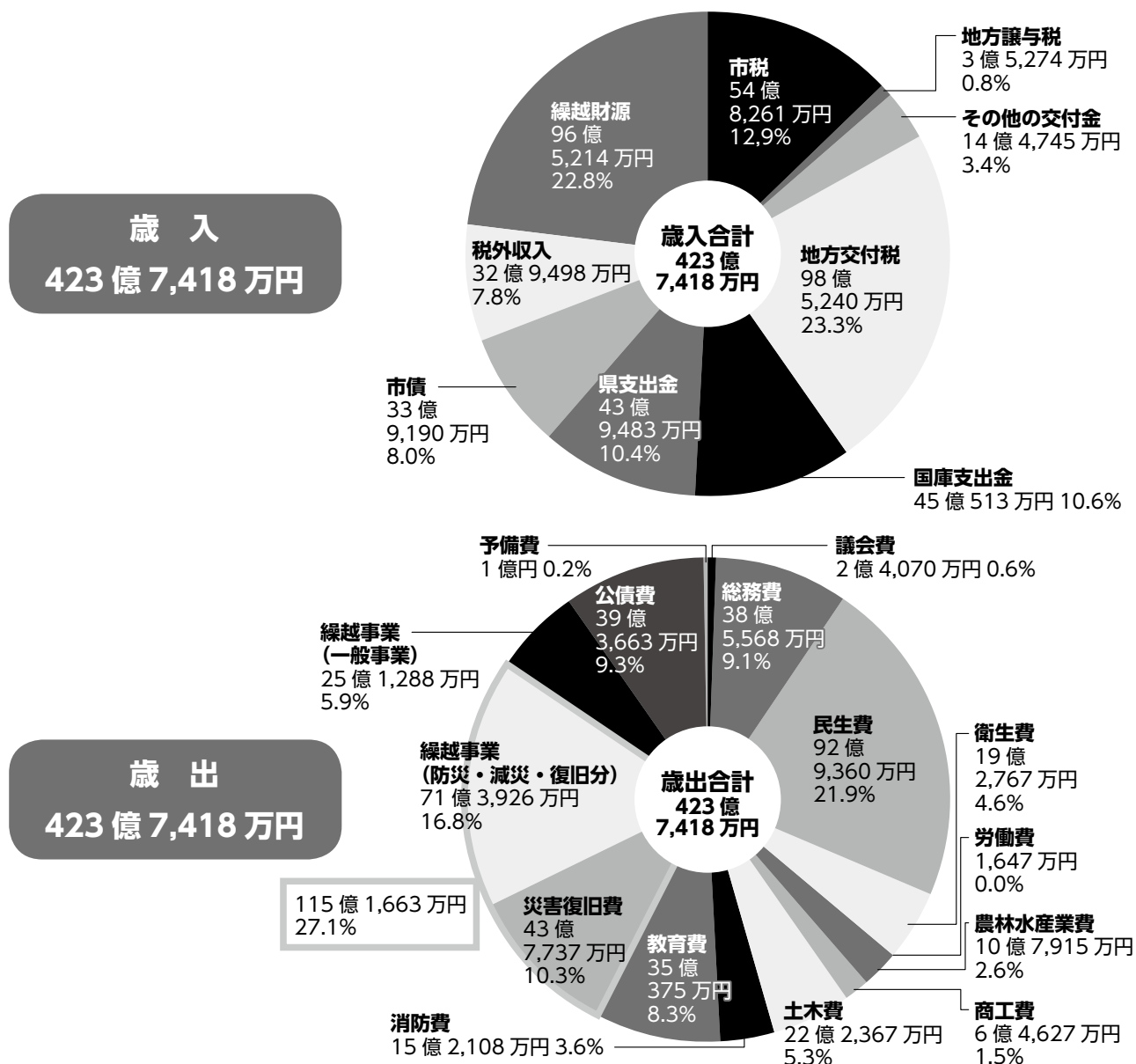
令和2年度の予算規模は、当初予算額に令和元年度からの繰越予算額を合わせ、総予算額 423 億 7,418 万円になりました。

令和2年度当初予算 327億2,204万円

令和元年度からの繰越 96億5,214万円

総予算（当初予算＋繰越分） 423億7,418万円

【令和2年度の総予算グラフ】



事業説明書の構成と見方

この事業説明書は、令和2年度に市が行う主な事業の概要をわかりやすくお知らせするために作成した冊子です。

今年度は、市民の皆様の「安心・安全」を確保し、次世代に「安心の輪」を繋ぐ取り組みを進める年と位置付け、本市にとって最優先の課題である「災害復旧と防災・減災対策」に加えて、「子育て・教育のまち」、「農林業・商工業・観光のまち」、「健幸・福祉のまち」の3つのまちづくりに取り組みます。

本編では、はじめに「災害復旧と防災・減災対策」の主要事業と前年度繰越事業を紹介します。続いて3つのまちづくり、2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業、その他主要な事業を紹介します。

資料編には、令和2年度当初予算の概要、市の財政状況などを掲載しました。

なお、各ページの事業説明の内容は、下の例のようになっています。

【事業名】

原則として事業ごとに説明しています。なお、新規事業や拡充事業（一部新規）にそれぞれ印をつけています。

【担当課・事業費】

担当部署と全体予算を記載しています。各課の連絡先は40ページに掲載しています。予算額の単位は、千円を四捨五入して1万円単位で表しています。



月舘学園小中一貫教育推進支援事業

3,111 万円

担当課 学校教育課

英語教育、ICT教育、ふるさと教育を掲げた伊達市の小中連携教育をリードする学校の実現を目指します。

【主な内容】

- 外国語指導助手（ALT）を月舘学園に常駐させ、小学校1年生から中学校3年生までの9年間の英語教育の充実に取り組みます。
- タブレットPCや電子黒板を活用し、画像、動画、音声などを用いて、楽しくわかりやすい授業を行います。
- 伊達市内のベンチャー企業と提携し、ロボットを使ったプログラミング教育システムを導入し進めていきます。（福島県産ロボット導入支援助成金を活用）



今年4月に開校した月舘学園の校舎

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	3,032	79

【財源】事業費の財源を次の3つの区分で表しています。

市負担：税金などの一般財源です。基金や市債もこの区分に入れています。
国・県の負担：国や県の補助金や負担金で充当される部分です。
その他：上記に含まれない財源です。例えば使用料、手数料などです。